

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			<p>・特別な配慮が必要な子どもは専門機関の助言を受け支援計画を立てながら、個別的な指導を進めると同時に、必要に応じて保護者との面談も交えて情報共有を行いました。保護者との信頼関係を築くことで、子どもも安心しての園生活を送ることができたと思います。</p> <p>・外国籍の子どもの言葉、保護者の家庭の在り方も様々で、個別の関わりや保護者対応が必要です。当園では通訳を配置し子どもの保育は勿論、保護者対応もしながら安心して集団生活を送れるよう配慮しています。</p> <p>・小学校とはコロナ禍で交流が十分できない中、書面や電話などの情報共有を行いました。</p>
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか			○		<p>・今年度はコロナ禍での行事開催を目指し、人数制限や様々な感染対策を講じながら、運動会や発表会を開催することができました。また小学校への入学に向けて年長児保護者は個別の懇談会も行う事ができました。しかし未満児に関しては行事開催の必要があるのかも含め職員間で協議し、少人数での開催方法の検討を重ねましたがコロナ感染拡大のため開催するには至りませんでした。その代わりに「動画配信を多く」を打ち出したのですが十分でなく、保護者アンケートより動画配信等での要望が多くあり応えていかねばならないと感じています。</p> <p>・子育て支援室は地域の親子からの期待が大きく、コロナの状況に配慮しながら開園し喜びの声が多くありました。</p> <p>・看護師を中心として、感染症やアレルギーの対応を行っていますが、保育教諭・看護師、栄養士との連携や情報共有を継続していく大切さを感じマニュアルの見直しや職員一人一人の意識の持ち方について再度確認の必要があると思います。</p>
	(2) 虐待に対応できる園内の体制（医療機関、児童相談所など専門機関との連携）の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			
教育保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<p>・避難訓練では様々な災害を想定し、災害等の発生に備えるとともに、防火設備、避難経路等の安全性が確保されるよう見直しを図りました。火災や地震などの災害に備え保護者への連絡および子どもの引き渡しを円滑に行うための方法の確認が必要だと感じました。なお、今年度「停電時自立運転」を設置し停電から復旧時の放電が可能になりました。</p> <p>・研修はwebで行われる機会が多かったため受講しやすく、研修によっては数人での受講が可能になり、職員間での情報共有につながりやすくなったと感じ、職員の自己研鑽のために役立てることができたと思います。</p> <p>・施設長は職員の希望を聞きながら研修を特定の職員に偏ることが無いよう配慮しました。</p> <p>・事業計画について、職員に関しては各クラスに配布したが、保護者に対しては「ホームページ掲載」のみで、周知徹底が十分ではありませんでした。</p>
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか		○			
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか		○			
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7) 事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか			○		
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか		○			
	(10) 個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか			○		
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14) 個人の評価結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			

施設関係者評価

- ・コロナ禍による様々な制限により保護者の中には不満を訴える方もいますが、子どもの命・安全が第一と考え、こども園として最善の対応をしていると思います。子どもたちが園生活を楽しく心地よく過ごしているかの問いに対して100%の人が当てはまる・ほぼ当てはまると答えており、このことが全てを物語っていると思います。
- ・避難訓練は職員の見直し子どもの安全性を大切にされている様子が伝わりました。
- ・午後のおやつは、おにぎりや焼きそばなどの軽食提供で給食を増やしているとのこと、保護者は嬉しいと思います。
- ・保育者自身に行事のあり方や日々の保育に対する考え方に変化が見られたという点で、具体的な例をあげて教えて頂きたい。
- ・行事の持ち方を全年齢同日から年齢ごとに分けて親子遠足、運動会、発表会を行ってきた事を通して子どもたちの成長が鮮明になったことは、園全体の教育内容の充実につながっていると思う。
- ・感染症やアレルギー対応では、職員の意識をの持ち方が1番であると思うので、何度も確認を取り危機意識を常に持てるよう望みます。

